

平成29年度 福井県立丹生高等学校 学校関係者評価書

- (問) ①スクールプランの重点目標や具体的な取組み等が適切か。
②学校評価書の成果と課題が適切か。
③成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

評価者 平成29丹生高校スクールモニター 9名
朝日地区2名 織田地区1名 宮崎地区1名 越前地区1名、
清水地区1名 鯖江地区1名 前PTA会長1名 現PTA現会長1名

【中高一貫教育】

- ・ NYU研究、交流活動、大学訪問など多彩な活動に積極的に取り組んでいたことを高く評価したい。
- ・ これからもふるさとへの愛着を育み、郷土に貢献できる人材育成に向けた取組みに期待したい。
- ・ H30年度からの大学入試で「探究活動」が重視されるとのことでもあり、学習指導においても、その強化をお願いしたい。
- ・ 地元のNPO、自治体、企業などと連携する機会を増やし、郷土愛を醸成できるような指導を継続してお願いしたい。
- ・ 生徒の感動、喜び、達成感を育む意味でもマスコミ、メディアの活用の継続を更にお願ひしたい。
- ・ 地域のリーダーを育成するという視点も計画に加えるとさらに良い。

【教育課程・学習指導】

- ・ 授業理解度が目標値に届かなかった点はあるが、宿題・課題の提出が目標を越えるなど、生徒の学習意欲の向上は図られている。
- ・ 生徒ごとの進学へのモチベーションの差や部活動との両立など難しい課題はあるが、授業に集中させる工夫を期待する。
- ・ 「授業をおおむね理解している」との回答が62.7%で少ないことから、高校での基礎学習の授業を実施して、「理解している」との回答率が上がるようお願いしたい。
- ・ 生徒が主体的に取り組む授業に関する研究をさらに進めてほしい。
- ・ 授業のねらいを明確にし、着実に生徒の学力を伸ばす工夫・研究を行ってほしい。

【生徒指導】

- ・ 地域において丹生高校生に対する苦情等は聞かれない。生徒の校外生活についての指導もできているように思う。
- ・ 生徒の学校生活の様子からきめ細かい生徒指導がうかがえる。心のケアも並行して今まで以上に進めて行ってほしい。
- ・ 今後に取り組みがなされる週2日の部活動休養日の設定には、学習との両立、生徒と教員の負担軽減の面から賛成できる。
- ・ 部活動は、教員の勤務体制にも影響するなど難しい面もあると思われるが、生徒の高校生活の身体・精神の充実を図る意味でも、部活動加入率の増加を図る活動を継続して進めて欲しい。
- ・ 携帯電話・スマートフォンの活用は、新ルールの導入で、周知・徹底できたとあるが、今後も情報ツールは日々進化していくので、それに対応できるような対応をお願いしたい。

- ・ 部活動では、生徒の自主性を伸ばす指導を期待する。

【進路指導】

- ・ 生徒、保護者への進路情報の提供には、十分な取り組みがなされている。
- ・ 生徒の進路希望に応じて、きめ細やかな対応がなされている。
- ・ 18歳での進学・就職などの進路決定は、難しいものがあるが、大学や職場見学を継続して進めて、生徒に選択する機会を今まで以上に与えて欲しい。
- ・ 進路研修会を充実させ、教職員・保護者が一体となって、生徒自身が進路を判断できるサポート体制を作っていく必要がある。
- ・ 自分の進路を見つめ直すためにも、大学訪問や職場見学の充実を図る。
- ・ 本校のOBの協力を得て、社会の動きと働くことの意義について生徒に考えさせる機会を増やすとよい。

【保健管理・教育相談】

- ・ 生徒の心身の健康への意識、清掃活動への意欲は高く、学校の指導を高く評価する。
- ・ 健康管理や日常生活習慣は、学校だけでなく保護者の協力・理解が重要であり、更に連携を深めながら進めて欲しい。

【図書指導・情報管理】

- ・ 若者の読書離れが進むなか、図書の利用促進に工夫を凝らして取り組み、貸出冊数、貸出者数とも目標を達成したことを評価する。
- ・ 読書については、町立図書館など関係機関と連携をとるなどの検討をお願いして、生徒に興味ある図書の整備や居心地の良い図書室となるように環境を整備し、読書離れを少なくして図書館の利用人数の増加につなげてもらいたい。
- ・ 生徒による本の買い出し活動は活発的でよいことである。今後とも継続してほしい。
- ・ ホームページ閲覧数が増加しているように、情報源としてのホームページの重要性がさらに高まっており、今後とも充実をお願いします。
- ・ ホームページは読者の視点をさらに意識して、今年のように写真を中心とした作成を継続して行ってほしい。

【その他】

- ・ 限られた予算、人員配置の中で、最高の成果をあげるために教職員が、知恵を出し合い日々努力していることが理解できた。
- ・ 何度か学校訪問をしたときに、生徒から、自然に会釈を受けたり、挨拶を受けたりした。これも先生方の日々の指導の成果と思う。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・ 自己評価と学校関係者の方からのご意見やご指摘をもとに、次年度の目標・具体的取組を精査し教職員一丸となって目標達成をめざし、本校の教育活動の充実に取り組みたい。